

調色、創色、電着装置も
扱う塗料ディーラー海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット

色見本作成（スプレーコート）（右上）、色見本（右下）、色見本作成（バーコート）（左上）、調色風景（左下）

業務内容

機械調色が難しいPCM
向け塗料の調色、販売

ウチダは創業以来、一貫して工業用塗料ディーラーとして塗装業者や鋼板メーカーに塗料の販売をしてきた。特にプレコートメタル（PCM）用塗料は機械での調色が難しく、塗料の品質安定性が求められる。そこで、同社は塗料ディーラーとして国内初の調色サービスセンターを設置し、難易度が高い注文にも応じている。

また、アルミ建材（フッ素樹脂）用塗料や金属表面処理薬品、電着塗料の販売に加え、前処理から塗装までのプロセスを管理するライン設備一式の提供も行う等、まさに塗料のスーパーディーラーといえる。

強み

少量多品種の塗色を
ジャストインタイムで提供

家電製品や自動車部品等は、塗装面の品質や外観の基準が厳しい上、近年は色種も多様化。さらに少量・短納期での納品を求められることが少なくない。そうした要望に対し、同社は独自の「受注生産・調色管理システム」を開発し、ジャストインタイムで応えている。常時500色以上の塗料設計書を管理し、原料の在庫は1000種以上。月平均200色以上のオーダーをこなしつつ、納品先によって異なる検査項目等にも対応している。



携帯電話パーツの新品提案

技能

目視で微妙な色を識別
精度はΔE0.3以下

「1社1ユーザー対応が通常のPCM用調色サービスで、6社対応できる当社は稀な存在」と手嶋社長は話す。フレキシブルな対応ができることも、管理システムが整っている同社ならではの強みだろう。

調色した塗料が設計書と一致しているかどうか。その精度を測る数値がΔEだ。中でもPCM塗料はΔE0.2以下と厳しい精度が求められるが、同社は0.3以下を必須に、平均0.15を維持。顧客の検定ではほぼ100%の合格率を誇る。

「調色の最終段階では、どの色を一滴たせばいいかという判断が求められるますが、当社にはこの道30年以上の調色技能者がいます」と手嶋社長。「調色の神様」と呼ばれる匠の技が粘度、光沢、膜厚、色調等、すべての条件をクリアに導く。技能の伝承にも力を入れる同社で、若手の育成を担う畑工場長は「調色は奥が深く面白」と笑顔を見せる。

今後の展望

塗装のすべての問題を
解決したい

近年、同社では創色（新しい色の提案）のカラーセンサー機能を立ち上げ、試作やミニ量産を手掛ける（有）プレインアーツ、表面処理や電着塗装の研究、装置の製作、サポートまで請け負う（株）サーテクノコアと連携し、ワンストップサービスを展開している。今後ネットワークを武器に海外へ目を向けていくという。

COMPANY PROFILE

株式会社ウチダ

大阪23

当社の歴史

昭和34年に塗料販売業をスタートさせました。以来50年以上、販売だけでなく調色もできるディーラーとして歩んできました。塗料メーカーではつくれない難しい色の注文にも応じてきたことで、技が磨かれたのだと思います。今は前処理や表面処理用の薬品、電着塗装等、幅を広げて展開中です。塗料の便利屋さんとしてお役に立てればと思っています。

長年培った色と技術のこだわりを、世界に発信していきたいですね。

代表取締役社長 手嶋 律夫さん



■主な事業内容

工業用塗料の調色・金属表面処理薬品の販売・創色の提案、特殊塗装装置の設計・施工等

■主な取引先（納入先）

塗料メーカー、鋼板メーカー等

住所／〒581-0039

八尾市太田新町9-3

TEL／072-948-0561

FAX／072-949-7092

創業／昭和34年5月

設立／昭和36年2月

資本金／1,000万円

従業員／18名

http://www.uchida-web.jp